

土岐・運・来

会報「土岐・運・来」第27号

発行 自然・馬・人の会

発行日 2004年 12月19日 (日)

只今の会員数 正会員 54家族

協力会員 33家族

賛助会員 0家族

友達誘つちゃいました！

友達を誘った理由はまずは自分が馬に乗り・触り・喜びを知り、ボランティアで参加することで沢山の子供たち・お客さん・ボランティアさん・友達が出来たことですね。o(^-^)o

その繋がりから、高橋社長・愛子ちゃん・薫ちゃんと出張や牧場に行き、馬のことを学び、乗馬会で牧場で学んだことを活かせる。この幸せを友達にも知ってほしかったからです。o(^-^)o

実際友達も幸せをかんじています(^O^)/

今後も新たな友達を連れていきたいと思います
p(^__^)q 宜しくお願ひします(>_<<)

小田原市・うさぎがトレードマークの りえさん

✿✿✿『友と乗馬する夢』

皆さん、こんにちは。せりきやくともこです。

沖縄出身。横浜で一人暮らしをしています。耳は全く聞こえず、目はぼんやり見える弱視です。

乗馬が大好き。楽しくて、気分が良いからです。でも、引き馬の経験しかなく、きちんと教わりたいな、と思っていました。そんな時、盲ろう児のお母さんから「自然・馬・人の会」のことを紹介してもらいました。

夢は、遠乗りをすることですが、一人では不安です。そこで、通訳もできる友人の山内靖子さんにも入会してもらいました。

いつの日か、山内さんと大草原を走り抜けたいな、と願っています。 皆さま、どうぞよろしくお願ひいたします。 横浜市・勢理客友子さん



11月のとても気持ちの良い乗馬日和の日に、お友達の拓郎君が来てくれました。馬のぬくもりやリズムが、子供たちにとても良いこと、そして会の暖かい雰囲気も伝わって、妹の幸歩ちゃんも参加してくれました。

ウチの子供たち3人が、揃って乗っていた頃が懐かし～！姉兄が一緒に楽しめる時間（コレがなかなか難しいんです）。手綱さばきを教わって恰好良く(?)乗っていた姿、本当に good! なひと時でした。当日も、「元気な子は上達が早いから楽しみよ！」なんて澤田さんと話をしながら見ていました。幸歩ちゃんがとても気に入ってくれて、早速会員になってくれました。

仲間が増えて益々乗馬会が楽しみになりました。
綾瀬市・泉裕子さん



富士五湖の近くにある牧場です。

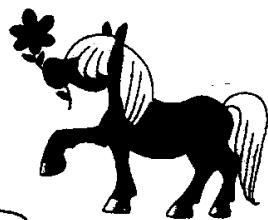
♪ これは申し込むしかない！！！

私が、この馬の会でボランティアをやる年数的には、もう5年目ぐらいとなるが馬に関する研修には出席したことがほとんどない。いつまでたっても簡単なお手伝い程度しかできないこの状態は、前々から、良くはないと思っていました。

しかし、私の休日の多くは長男の明彦(乗馬会では通称「あっくん」)のお出かけ(乗馬会もその中のひとつ)につきあうので、乗馬会の研修への参加は難しい状況でした。

ところが、今、明彦は生活自立訓練の目的で七沢学園に3ヶ月間修行に出しています。

私に1日フリーという日が何日もできました。研修の必要な私に研修の案内が来た。しかも、格安で！ これは申し込むしかない！！！！



初参加で～す！

ボランティアに興味をもっていたのですが、自分でどのくらいできるかが解らず参加していなかったのですが、こちらなら乗馬経験が活かせると思い参加して大変充実した一日を送らせていただきました。

また、紅葉台の研修にも参加し自分が乗っている時とは違いひき馬では違う技術を求められることを新たに学ばせていただきました。これからも参加していきたいと思います。

平塚市・木村圭佑さん

研修会に

台風、また台風のあいまをぬって、みごと好天に恵まれ紅葉台牧場へ行つきました。

当日、参加者は坂梨さん、中村さん、白井さんと渡辺の4名。予想どおり、一番のしろうとは私だった。

馬にぶらしきかけ、鞍つけて、はみつけてと、一人一人が一頭の馬に乗るので、馬装も一人あたり一頭分の馬装をしなければならない。今まで「はみ」をつけたことがなかった私がこの日は、何回か「はみ」を着脱したのであとになるとわからないが当日はできるようになった。収穫である。

馬装後、牧場の方を先導に約1時間の場外乗馬。ついていくのに馬のスピードコントロールが、微妙に難しい。自分では、わからないが乗馬姿勢がわずかに左に傾いていると指摘された。それが、駆け足になったとたん、落馬はしなかったが体が左側にとばされた。納得！ 納得！

午後には、障害者の団体がきたので、サポートをしたり、馬の会メンバーで場外乗馬散歩をしたりと、支払った研修費では考えられない体験をさせていただきました。 開成町・渡辺義彦さん



参加して!!



♪ 馬に乗った時の最高な気分を、
自分の身体で実感できました ♪

11月の研修では、馬装からひき馬まで、菊地さんを始めとするスタッフの方々に親切に教えていただき、また実際に乗馬をさせてもらい、馬に乗った時のあのなんとも言えない最高な気分を、実際に自分の身体で実感することができました。

今回の研修で学んだことは、基本的なことばかりでしたが、それはひとつひとつとても大事なことでした。馬に人を乗せて、そしてサポートする、という責任の大さを改めて実感しました。 ↗



カウボーイの旅に行ってきました!

☆ 始まりは出会いから ☆

「広大なアメリカ大陸」「コロラド州」「ロッキー山脈」「山麓」「エステスパーク」「ソンブレロ牧場」そして「馬上の人」「今の自分」、それは少年時代に憧れていたカウボーイの姿ではないか。

今年の初めに小田原乗馬会で T さんと知り合い、自分は自然の中で馬に乗るのが夢ですと話していたら、Tさんはアメリカで夏の間、牧場でインストラクターをしているので機会が有ったらいつても案内してあげるよと言ってくれました。その後 T さんより前年馬に乗りに来た K さんが今年も夏に来るそうだから一緒に同行されてはと、Kさんを紹介して頂きました。Kさんに会って見て実際に温かで知識豊かで人の面倒見が良い人そして何よりも馬が好きな事、この点は自

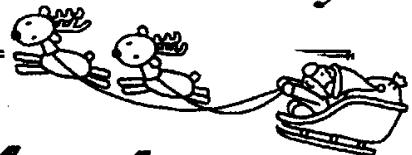
また、11月の乗馬会では、研修で学んだことを、ひとつでも多く生かそうと思い、積極的に馬装、ひき馬等を行ないました。

ヘルメットをかぶって、まだかまだかと楽しみに待っている子たち、そして馬に乗って最高の笑顔を見てくれる子達を見ていると、もっともっと馬に乗って楽しんでもらわなくちゃ、そのためにもっともっと勉強しなくてはと、そういう気持ちにさせられました。

私は馬の会のボランティアを始めたばかりで、まだ障害者乗馬の知識、経験がほとんどなく、今回の研修ではたくさんのこと教えていただき、またたくさんの経験をさせていただきました。

また、こんなに長い時間、馬と接し、乗馬することは、初めてで、とても楽しく、とても良い経験をさせていただきました。どうもありがとうございました。

相模原市・白井 麻美さん

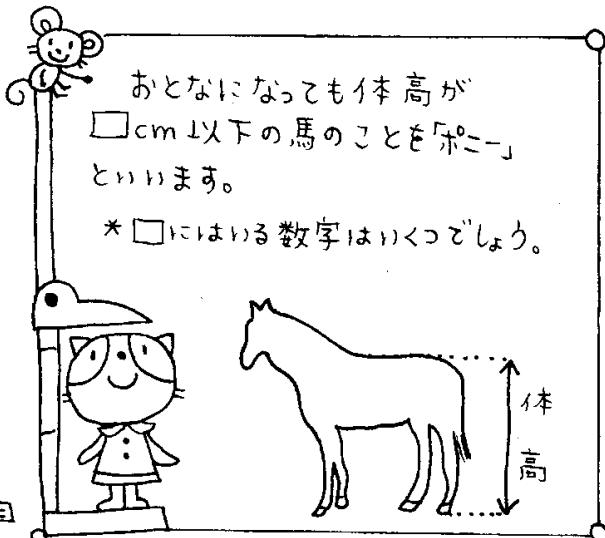


分とも多いに気の合う所そしてそんなこんなで「カウボーイ」の旅へ。

山岳外乗は3年振り、乗る前は少し緊張でも手綱を持つと肩の力がすっと抜けリラックスした気分で常歩軽速歩など取り混ぜ上り坂あり下り坂あり時には河の流れの中を「ジャブジャブ」と渡り、高山植物のコロラド州花でもあるブルーコロバインや童貞の花など野草の花が咲く大自然の中をあっという間8時間に及ぶ「カウボーイ」の旅も終ってしまった。

笑に楽しい旅を体験できたこと、これも一偏に「人と人の出会い、人を大切に思う心」そんな気持ちが遠く忘れていた夢を叶えてくれた今回の旅でした。

川崎市・花形富雄さん



お馬さんもいろいろなものを食べ
るけど、この中で「お馬さんが食べない
ものはどれだ。」

- | | |
|------|------|
| 1. 草 | 2. 麦 |
| 3. 塩 | 4. 肉 |



こたえは次の会報でね。
楽しみにまってね。

定期乗馬会の予定
1/9(日)、2/6(日)

* 大切なひづめを守るために、ひづめの
裏に「ていてつ」を付けているんだよ。

* 「ていてつ」が使われていらない時代
に日本では、馬たちに「馬わらじ」をつけ
て旅をしたんだよ。



「自然・馬・人の会」 会長 櫻井 広利
〒250-0045 小田原市城山1-3-22
TEL 0465-32-1308 FAX 0465-32-1332
E-mail na-nhp@wb3.so-net.ne.jp(中村)
ホームページ http://dhi.cool.ne.jp/uma/

後援: 小田原市

助成: ともしひ基金果実事業
富士ゼロックス端数クラブ
(株)富士ゼロックス